

■困難 vs やる気■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 535 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で「実現倶楽部」を中心に松村拓也の活動について、ほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

535 目次

- 1. 先週の報告
- 2. 今週のお誘い
- 3. 実現ブログより：困難 vs やる気
- 4. 居場所・連絡先
- 5. このメルマガについて

.....

1. 先週の報告

7/8,9 は、猛暑の中メゾンふきに籠って、汗だく作業。

7/10(木)、一宮庵作業、日楽庵作業、真也の誕生祝をやった後、夜の土砂降りから天候が一変し、涼しくなった週末はゆっくり風呂に浸かってくつろげました。

7/12(土)、笑恵館の受付やりながら、実現倶楽部サイト ((株)なのにとアントレハウス) の改修がひとまず完了したので、どうかご笑覧ください。

なのに：<https://nanoni.co.jp/>

アントレハウス：<https://nanoni.co.jp/entre/>

7/13(日)は、急遽能登に行けなくなり、突然時間ができたので、映画：ハルビンを観たんですが、伊藤博文を暗殺した安重根 (アン・ジュングン) にすっかり感情移入する自分に、不思議な心地よさを感じました。

7/14(月)は、日楽庵で母の主治医と MTG、血液検査の結果が僕よりずっと良好なので、母より長生きという新たなハードルを頂きました。

.....

2. 今週のお誘い

【凡例】★：実現倶楽部の無料イベント

◎：一般参加歓迎

○：作業してますが、面談歓迎です

×：所用のため不在です

上記以外の時間帯は、24 時間営業ですので、いつでも気軽にお問合せ下さい。

- (火) 07/15 営業日
 - 10-17 時 ★笑恵館・無料相談会_毎火 (世田谷)
- (水) 07/16 営業日
 - 19-21 時 ★zoomMTG_毎水金日 (未定)
- (木) 07/17 営業日
 - 10-13 時 ○一宮庵・無料相談会_毎木 (世田谷)
 - 13-16 時 ○日楽庵・作業&母見守り_毎木 (世田谷)
 - 16-18 時 ○笑恵館・なるほどデイ
 - 18-20 時 ◎笑恵館持ち寄り食事会
- (金) 07/18 営業日
 - 09-13 時 ◎ふきの庭・見学説明会@_毎水金日 (大田)
 - 14-15 時 ×ワンフォーワン駒沢 MTG (世田谷)
 - 19-21 時 ★zoomMTG_毎水金日 (未定)
- (土) 07/19 営業日
 - 09-17 時 ★笑恵館・無料相談会_毎土 (世田谷)
- (日) 07/20 営業日
 - 19-21 時 ★zoomMTG_毎水金日 (未定)
- (月) 07/21 営業日

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

3.実現ブログより：困難 vs やる気

先日ブログに書いた「辻説法@現地」を始めるため、準備を進めている。
その目的は、相手とやり取りをしながらこちらの意図をしっかりと伝えること。
そこで、相手によって語り口は様々変化するが、少なくとも辿り着きたい結論をしっかりと紙に書いて、「ね、だからこれなんです！」と見せることをゴールにしたい。
つまり、僕の伝えたい「これ」を、明確に書く必要が有る訳だ。
もちろん、伝えたいことははっきりしていて、それは「一緒に地主になりましょう」という感じ。
地主になってできることは、場所によって様々なので書けないが、「地主」という概念については、ズバリ書きたいと切に思う。

そこでまず、世間の人々が「地主」に興味を持って、ググってみるとどうなるかを調べよう。
早速「地主」という言葉を検索したら、「地主株式会社」という上場企業が現れて、「土地を買う、土地を貸す、貸している土地を売る、そして投資家の資金を運用する、それが JINUSHI ビジネスです。」と書いてある。
恐らくこれが、すでに形成された世間の常識に準拠するのかもしれないが、そもそもビジネスは金儲けではないことと、金儲けは手段であって目的ではない点で間違っている。
僕は金儲けを否定する気は毛頭ないが、その目的化を一般化すべきではない。
おカネは食べられないし、お尻も拭けない兌換（交換）券に過ぎず、それは何かを買ったり頼んだりするため

の手段に過ぎない。

僕が問う目的とは、買うモノや頼むコトの方であり、それ無しにおカネにこだわるのは「とりあえず」に過ぎない。

・

だが一方で、この事例は反面教師的な示唆に富んでいる。

僕が否定したいのは、「土地を買う」と「土地を売る」の部分であり、「投資家の資金を運用する」を「仲間の願いを実現する」に置き換えたい。

つまり「所有する土地を貸して、仲間の願いを実現する」が、僕の目指す地主の説明だ。

もちろん土地の売買だって否定する気は毛頭ないが、それは決して地主の役割ではない。

地主とは土地という小さな国の君主=王であり、領地を売り買いする人は売国奴と言って忌み嫌われる。

かつてアメリカが領土をフランスやロシアから購入して広げたこともあったが、それは植民地などの収奪財産だった。

つまり、先ほどの JINUSHI ビジネスの実態は、まさに植民地支配に基づく帝国主義であり、トランプ大統領に代表される自分ファーストの系譜とともに、それを地主とは呼びたくない。

・

おっと、話を本題に戻そう。

「一緒に地主になりましょう」は、「地主の仲間になりましょう」に言い換えられるが、それに付随する「入会して会費を払って欲しい」は手段であって、「地主として土地を自由に使って欲しい」こそが目的だ。

ところがこの「自由に使う」の説明が、極めて難しい。

「使う」は、使用・利用・活用など様々な言葉の総称で、それを「自由に」となれば、本当に何でもできる「無制限」を意味しているが、多くの人にとって「無制限の自由」など理解不能に思える。

現に僕自身、名栗の森オーナーシップクラブを始めた時、まずは「山林所有」に関する制限事項を探し求めて、市役所を皮切りに「盥（たらい）回し」をされに行った。

その結果、あくまで「無制限（自由）」が基本で、特別な条件下の素でだけ制限があることがよく分かり、自身の思考回路も逆転した。

・

そもそも都会育ちの僕自身、山林の実態についての知識などほとんど無いに等しかった。

例えば「宅地建物取引業（不動産業）」は、宅地に関する業法だが、宅地面積は日本国土の 1 割程度で、7 割近い山林には全然関係ない。

だが、逆に言えば国土の 7 割近い山林部分や 2 割程度の農地について無知な我々が、農業や林業の政策について論じられるはずがないのに、コメ問題はすでに待ったなしの状況だ。

社会について論じるために、必要な社会参加とはいったい何なのか。

それは、土地を所有することで当事者になるしかないんじゃないかと僕は思う。

そして、土地売買を禁止せよとは言わないが、せめて所有中は地主（領主）になって、小さな国づくりの当事者意識を持つべきだ。

・

案の定、とりとめのない話に思えるけど、それでも核心に近付いてる。

僕がみんなに言いたいのは、やはり「金持ちでなく王様を目指そうよ」だと思う。

以前「金持ちと王様」の中で、「金持ちが目指すのは、自分だけが金持ちになること」だと断じたが、そんな自分ファーストを指示する人は、所詮同類だ。

これに対し、これまで特権階級の代表格だった王様に、みんながなっちゃう「民主主義」は、王様が大勢いる国を作るのではなく、国民すべてが王様になって議員や役人（という家来）を働かせるという意味だ。

その第一歩が、地主（土地所有者）の仲間（王の家族）になることだ。

結局、辻説法のゴールはめちゃくちゃ難しくなったけど、やる気がぐっと湧いてきたので、ま、善しとしよう。

<https://nanoni.co.jp/250712-2/>

.....

4. 居場所・連絡先

松村拓也 メール takuya@nanoni.co.jp
携帯 090-9830-3669

■拠点

一宮庵 東京都世田谷区成城 6-22-7

火曜 <https://ikkuan.com/>

笑恵館 東京都世田谷区砧 6-27-19

木・土曜 <http://shokeikan.com/>

ふきの庭 東京都大田区東矢口 1-10-8

上記以外 <http://fuki.land-resource.org/>

■主な所属法人:

取締役 (株)なのに <http://nanoni.co.jp/>

取締役 (株)KITAKEN

代表理事 (一社)日本土地資源協会 <http://land-resource.org/>

監事 (一社)ワンフォーワン <https://oneforwan.org/>

監事 (一財)八島花文化財団 <https://yatsushimahana.com/>

監事 (特非)外浦の未来をつくる会 <https://www.facebook.com/sotouranomirai>

監事 (特非)えん <https://www.act-en.org/>

■地主の学校・販売中

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>